

受託サービス

モノクローナル抗体作りで研究のお手伝い

バイオアカデミア株式会社では、高度な技術と豊富な経験をもつ専門家を中心にモノクローナル抗体作製の受託サービスを実施しています。電気的細胞融合法と弊社独自の技術を用いて、高品質のモノクローナル抗体を、迅速かつ合理的な価格で提供致します。マウスおよびラットの免疫から、細胞融合・スクリーニング・クローニング・抗体提供までを代行します。受託の内容によっては、知財・権利の完全譲渡および機密保持契約書を取り交わします。抗体作製は相談の上、マイルストーン制により実施いたします。弊社で商品化の可能性のある抗体は**無償**または**実費**でお引受け致します。

お問い合わせ

- お電話をいただくか、[質問シート](#)に記入後、E-mail (info@bioacademia.co.jp)にてお問い合わせください。作製可能かどうかご相談します。

打合せ

- 必要に応じて専門家を派遣、もしくはWebミーティングを行い、実施内容、最終目標やお見積りなどをご相談いたします。

抗原デザイン

- 抗原のデザインは、ご相談の上、決めさせていただきます。
- タンパク質抗原をご提供の場合、必要抗原量は抗原性に依存します。例えば、組換えタンパク質を抗原とする場合、1個体あたり100～400μg程度です。
- （合成）ペプチド抗原の場合、キャリアタンパク質としてKLHなどを用います。

免疫

- 通常マウスはBALB/cを用います。ただし、お客様のアプリケーションに最適な動物（マウスあるいはラット）の系統についてはご相談いたします。
- 免疫法についてもご相談いたします。

細胞融合

- 細胞融合は、基本的に電気的細胞融合法を用い、その後の弊社独自の培養技術によって数百個のクローンが得られます。

スクリーニング

- 通常、ELISA法もしくは蛍光抗体法で行い、その後、ウェスタンブロット法など使用目的に応じて確認いたします。

お引渡し

- 各ハイブリドーマの細胞株とその上清（無血清培地による培養）を納品します。
- 納品後の大量培養や抗体精製の受託についてもお気軽にご相談ください。
- 抗体の酵素標識や蛍光修飾なども受託可能ですので、ご相談ください。



バイオアカデミア株式会社



〒565-0871 大阪府吹田市山田丘3-1
大阪大学微生物病研究所 北館 3F
TEL:06-6877-2335
FAX:06-6877-2336

お問い合わせ info@bioacademia.co.jp
ご注文 order@bioacademia.co.jp

～独自の技術で高性能の抗体を作製する～

①基本価格・お見積りについて

- ・弊社では抗体専門家を派遣もしくはWebミーティングにより、お客様とご相談し目標設定をさせていただきます。ご希望の抗体を取得するために必要となる作業内容から、それぞれのご要望に応じたマイルストーンに基づき、抗体作製のお見積りを行います。
- ・基本価格は、抗体作製の難易度に応じて100万円～200万円(税別)になります。弊社で商品化できる抗体については**無償**または**実費のみ**でお引受け致します。

②成功報酬制

- ・製品評価の方法を事前にお客様と相談し、特に難易度の高い抗体作製をご希望の場合は、弊社でお客様が期待通りの働きをする抗体であることを確認した時点で成功とし、成功した場合の費用は事前に相談の上決定します。もし、ご希望の抗体が作製できなかった場合は、抗体作製にかかった試薬等の基本的な費用のみの請求となります。

③綿密な打ち合わせ

- ・お問い合わせいただいた後、専任の抗体技術専門員が、抗体設計や抗原デザインなどのヒアリングをさせていただきます。
- ・必要に応じて訪問やWebミーティングなどのサポート体制をとり、ご納得いただいた後にご注文をお引き受けします。

④納期の期間

- ・陽性クローンの樹立まで最短で3ヶ月程度となります。したがって、抗体の受託からお引渡しまで3～4ヶ月で行うことができます。
- ・HAT選択培地を用いた半固形培養法（細胞クローニングを兼ねる）を用いることにより、作製までの期間が短縮されます。

⑤精製抗体とハイブリドーマを納品

- ・得られたハイブリドーマのクローンについてご希望のクローンとその上清（無血清培地による培養）を納品いたします。
- ・納品後、お客様自身による、大量培養・精製も可能ですが、弊社においても精製は可能ですので気軽にご相談ください。

⑥抗体の権利

- ・製品の商品化や、共同研究者様への配布・譲渡など用途はお客様の自由ですが、知財・権利の完全譲渡は受託価格に反映されます。

⑦動物実験の倫理

- ・弊社は受託する抗体作製における動物免疫実験にあたって、「動物愛護および管理に関する法律」を遵守します。そのため腹水での抗体産生は行いません。

【抗体受託作製 質問シート】

お客様のニーズに合った抗体を作製するために、以下の質問シートにお答えください。
開示可能な範囲で結構です。ご協力をお願いいたします。

Q.抗原について

抗原名

()

抗原タンパク質の分子量

(計算上：SDS-PAGE上：)

抗原タンパク質の由来

()

その他、注意すべきこと

例：タンパク質の精製方法とその純度など

()

Q. 今回作製する抗体を使って行う実験の優先順位をつけてください。

() ELISA () サンドイッチELISA

() ウェスタンブロッティング () 免疫沈降

() 免疫染色(組織) () 免疫染色(培養細胞)

() イムノクロマト () その他(ご記入ください：)

Q. 今回の作製で得られた抗体の修飾などのご希望はございますか。

例：FITC、HRPなどのコンジュゲート

()

Q.今回作製をご希望の抗体について過去に作製履歴はございますか。

() ある：自作 or 受託(受託先：)

モノクロ or ポリクロ

リコンビナント抗原 or ペプチド抗原 or その他()

() 初めて

Q.作製履歴がある方にご質問します。使用結果はいかがでしたか。

例：ウェスタンブロッティングには使用出来たが組織免疫染色では反応しない。

()

Q.市販の抗体はございますか。

() ある (メーカー： 品番：)

() ない

Q.予定されている抗体の評価方法は。

評価方法()

予定評価期間()

Q.精製タンパク質はお持ちですか。あるいは調製可能ですか。

() リコンビナントタンパク質を持っている。

() 細胞あるいは組織から精製したタンパク質を持っている。

() 持っていない。

() 今は無いが調製可能。精製タンパク質 or リコンビナント

Q.その他、ご質問やご希望などがあれば遠慮なくお書きください。